

鎌ヶ谷市施策評価表(事後)

施策の名称	223うるおいある河川・水路の整備		
施策のねらい (めざす姿)	市民が水辺に親しみをもっています。 河川・水路等の整備が進み、市民が安心して生活できています。		
基本目標	2「自然と社会が調和する環境共生都市」をめざして	施策担当マネージャー	都市建設部次長
政策	22快適な暮らしの環境をつくります	マネージャー氏名	鎗田 淳

I 改革・改善内容(=施策をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	・河川・水路等の適切な維持管理の促進。 ・浸水被害軽減に向けた効果的整備の促進。	③改革・改善内容	・河川水路の現状を把握した中で、清掃や浚渫を効率的に行うことにより、流下能力の確保に努める。 ・事業の投資効果、被害の状況を考慮し、効率的に事業を進める。
②①に基づく取組み結果	・現況河川の護岸改修の実施。 ・雨水貯留池の整備の実施。		

II 施策の目的・概要

①目的	対象	・河川水路施設等の管理 ・河川水路、雨水貯留池、雨水貯留浸透施設の整備	意図(対象をどうするのか)	・水辺環境が整備される。 ・施設整備を行うことにより浸水被害の軽減に繋げる。
②施策の概要	・河川、水路、調整池等の整備と適切な維持管理がなされ、市民が水害に対して安心して生活環境を整える。 ・みどりと調和した魅力ある水辺環境が整備され、市民が水辺に親しみを持つ。			
③環境分析(状況変化や今後の見込み・市民意向など)	地球温暖化によるゲリラ豪雨が増加し、道路冠水や家屋への浸水被害が多くなり、浸水被害対策の市民要望が高まる。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25～26年度の施策の成果	・準用河川二和川護岸改修工事 ・南初富5丁目貯留池整備工事、串崎新田貯留池整備工事 ・公共施設への雨水貯留浸透施設の整備						
②施策成果指標	指標名称		単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標値(27年度)
	i	浸水面積	ha	124.6	124.6	124.5	123.9
	ii	浸透柵設置個数	基	6,263	6,411	6,587	6,800
	iii						
③基本事業成果指標	i	貯留量	m <sup>3</sup>	37,480	37,480	40,421	38,270
	ii	河川・水路に対する満足度(市民意識調査)	%	—	13.8	—	13.0
	iii						
	iv						
	v						
	vi						
④施策の事業費	平成25年度決算	平成26年度決算	市民一人あたり事業費(26年度決算)	平成27年度予算			
事業費(千円)	210,060	378,895	(単位:円)	3,488	円	284,292	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	・下流の河川整備が未整備な中で、最も効果のある箇所を選定し整備しなければならない。 ・道路冠水や浸水被害等のデータを基に整備可能かつ効果のある場所の選定が難しい中で、施設整備を進めなければならない。		
②総合評価	2概ね達成	③総合評価の理由	浸水面積が目標を下回っているものの、雨水貯留池整備に伴う貯留量については、目標値を超えており、浸透柵設置は概ね目標値達成できる個数で推移している。

V 今後の方向性

①成果の方向性	↑ 向上	②コストの方向性	↑ 増加
③特に重点化する事務事業	準用河川整備事業		
④上記方向性の説明	準用河川二和川整備事業を進められる環境が整ったため		